

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	まちづくりサポートプロジェクト 【事業費予算1,700千円】
事業目的・概要	【目的】 今後の区のまちづくりに向け、主に公共交通や空き家の状況について、勉強会や調査等を行う。併せて、区内で実施するイベント等への支援を通じて、区自治協議会の認知度向上を図る。 【概要】 ・区内で実施するイベントへ参加し、江南区や区自治協議会のPRを図る。 ・公共交通に関する勉強会の実施
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◎アルビレックス新潟「江南区民デー」への協力 江南区民が招待されるホームゲームにあわせて、区自治協議会のブースを設置し、江南区や区の特産品のPRを図った。 ●開催日:11月17日(土) 【実施内容】 ○江南区自治協議会ブースの設置・運営(5名) ・江南区親善大使総選挙の実施。参加者には、親善大使とアルビくんの限定コラボバッチを配布。(810名参加) ・江南区親善大使パネルと写真を撮って、SNSで発信していただいた人に、江南区産の梨と限定コラボバッチを配布。(200名参加) ・江南区誕生10周年記念式典のダイジェストムービーを放映 ◎新潟ハーフマラソンへの協力 マラソンコースの大部分が江南区を走ることから、江南区や自治協議会をPRするため、自治協議会として大会運営に協力した。 ●開催日:3月17日(日) ●大会参加者:約5,000名 【実施内容】 ○江南区自治協議会ブースの設置・運営(6名) ・ランナー向けフォトスポットの設置。参加者には記録証を保管できる江南区親善大使オリジナルファイルを配布。(500名参加) ・江南区の特産品である藤五郎梅、スイートコーンをモチーフとしたふるまいドリンクを提供。(計1,000杯) ○給水所の運営協力(11名) ・JA新潟みらい亀田郷前の給水所の運営に協力。 (その他) ・まちづくり部会で、現状の区内の公共交通に関する課題の洗い出しを行った。区内には区バス・住民バス、路線バスのほか、利用者が限定される目的バス(福祉バスやスクールバス)があるが、少子・高齢化が進む中で、全てのバスを今後も維持することができるのか、各バスを所管する組織のあり方などが課題として挙げた。 ・空き家対策に向けた取り組みについては、既に自治会やコミ協が主体となって検討しているところもあることから、調査等は実施しなかった。

事業の評価 （地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）	【各種イベントへの協力】 ○市外・県外からも多数参加が見込めるイベントで活動を行ったことで、江南区や区自治協議会を広くPRすることができた。また、SNSなどを活用することで、イベント参加者以外の方にも江南区を知ってもらえる取り組みができた。 ○ハーフマラソンについては、今年度より企画から専門業者を絡めることで、より参加者が見込める内容とした。 ○区自治協議会の認知度向上に向けては、引き続き大規模なイベント等での広報活動が必要。 【公共交通に関する勉強会】 ○部会で、現状について課題の洗い出しを行ったが、それを基にどうしていくことが求められるのか、踏み込んだ議論まで至らなかった。次年度は、最終的な成果を考え、それに向けて調査等を行う必要がある。 ○コミ協等で既に取り組んでいる部分があることから、その取り組みをバックアップする。 【空き家対策に向けた取り組み】 ○空き家対策に向けての調査等は部会として取り組む事項ではないとの判断から実施しなかったが、空き家対策や公共交通など、地域での課題解決に向けた様々な取り組みをコミ協単位で行っていることから、次年度は、その活動に対して支援することを検討していく。
備考	